

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

株式会社オカムラ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
						1 平和と公正	2 脱炭素社会	3 健全な働き方	4 質の高い教育	5 ジェンダー平等	6 清潔な水と衛生	7 エネルギー	8 豊か	9 産業、イノベーション、労働	10 人や国の不平等をなくす	11 住み続けられるまちづくり	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正	17 パートナーシップで目標を達成しよう												
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		各事務所へ掲示。 朝礼時唱和。									8	9																	17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令改正の都度、会社の規則に反映させ社員に周知している。																								16					
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努め、全従業員に向けてその重要性を発信している。																			10							16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		自社の事業活動が、社会に及ぼす影響については総務部が把握し、環境に及ぼす影響については社内委員会を設置している。																										16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産に関する研修会や勉強会を行っている。										8.2	8.3	9																	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		従業員の個人情報、取引先の個人情報に関する規定を設け、その対策を実践している。																										16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		外部運営委員会の意見を聞き運営に反映させている。																										16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5							8			10		12	13	14	15	16	17							
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		事業継続計画(BCP)を策定している。																	9				11				13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者の指導育成に取り組んでいる。												8	9															17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●									1		2																			17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		差別や各種ハラスメントの禁止について就業規則に定めている。												4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5														16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会を設置し、労働安全衛生について全従業員に周知している。																		3											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金等の原則に従って令和3年4月1日にガイドラインに沿った整備を行った。																													
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		毎週水曜日にノー残業デーを設けている。 有給休暇取得の奨励、働き方改革に取り組んでいる。																													
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		業務に必要な資格取得に対する費用負担、育成面談を通して自己啓発を促し自己キャリアアップを支援している。																													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		経産省の健康経営優良法人の認定を受けている。 年1回以上の健康診断の実施。 市の運動トレーニングジム利用料を100%を会社で負担している。																												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性、障害者、高齢者、外国人の積極採用を行っている。																													
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		大規模な朝礼をなくし、連絡事項はグループチャットなどのツールを使用し周知している。 現場事務所が密にならないように空き部屋を利用し部署ごとに分散している。 昼休憩はなるべく密にならないように周知している。																													
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		受注をコミュニケーションアプリが使えるようにし、社内経理はオンラインで行うなどICTを積極的に活用し業務改革に取り組んでいる。																													
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		プライト企業に認定されている。 (認定期間2018/10/12~2021/10/11)認定更新予定。																													

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社オカムラ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		製品に含まれている指定化学物質やそれを含む製品の危険有害性や取り扱い上の注意等の情報を記載したデータシート(MSDS)に則り適正管理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		社用車の燃料使用量を毎月記録・集計し推移の把握を行っている。エコドライブを意識し、燃料使用量の削減に取り組んでいる。社内の照明のLED化を進めている。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		環境省によって策定された環境マネジメントシステムであるエコアクション21に取り組み、ガイドラインに沿って毎月データ記録・集計を行いCO2排出量の削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		技術系の業務成果は環境に直接影響を与えるので細心の注意を払って業務にあたっている。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ごみ分別の確認、細分別の徹底。再資源化に努めている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水道メーターを定期的にチェックし使用量を把握している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		環境に配慮した製品を積極的に選んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		本社玄関周辺の植林、植栽に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		設備導入の際は、高効率機器購入の検討を行っている。								7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		廃棄物として受け入れた木材は焼却せず、破碎してバイオマス燃料製造業者に納入している。							6		9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		プラスチックの使用削減、海洋ごみ投棄パトロール、海洋汚染の防止削減に取り組んでいる。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		社用車にハイブリッド車を導入し、車両購入の際には電気自動車の購入を検討している。公共交通機関を利用して通勤している従業員にはその100%の費用負担を行っている。										9.4		11.2			13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		毎年、事業活動によるCo2排出量削減目標を設定し、CO2削減に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社オカムラ

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		サービス利用時に想定されるリスクの洗い出しを行い対策を共有している。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		高齢者・障害者でも利用しやすいように、ドライブスルー方式の施設に改修した。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	産地地消を意識し、熊本県産の原材料、商品優先して使用している。		2.3						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	社屋は木材を使用した内装にし、木質化を推進している。								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	地球温暖化対策に対する取り組みとして埋め立てごみの削減に向けて商品開発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3								8.2	9.2			11.a	12.2		14	15	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		従業員に対し、居住する地域の活動に参画するよう奨励している。地域の清掃活動、河川の除草、清掃活動にボランティアで参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		定期的に避難訓練を行っている。事業所において災害時に提供できる簡易トイレの確保、飲料水の備蓄を行っている。				4								11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	地域防災の担い手としての認識を持ち、社員に防災士資格の取得を奨励している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	社内掲示板にて環境問題の新聞記事を掲示している。顧客には普及啓発、従業員にはSDGs研修を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	地元中学校や支援学校の職場体験受け入れを行っている。				4						8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の生徒・学生を積極的に雇用している。				4.4						8.5	8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2			4.3					8.6		10.2		12	13	14	15		17

25 25

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。